

導入事例

安全運転管理

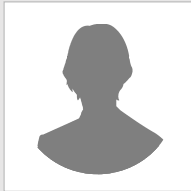
業務効率化

保有検知器対応

エステ株式会社 様

生活日用品メーカー

従来からの紙運用で義務化対応に限界...『スリーゼロ』で現場管理者の業務負担を最小限に抑えてスピーディにスタート



営業部門 国内営業本部 営業支援グループ
森 早由奈 様

プラン : シンプルプラン
導入時期 : 2022年9月
車両用途 : 営業用途
営業部門の社員がお客様先へ向かうのにはほぼ毎日利用。
工場勤務がある場合は自家用車を利用。
管理車両 : 主にリース車



背景・課題

アルコールチェック項目追加で運転日報作り直し、紙運用で管理者の業務負担増大

4月義務化以降、運転日報にアルコールチェック項目を追加して、紙での提出に加え、直行直帰など目視ができない場合は、Zoomを使って目視確認を開始しました。

従来のA4サイズでの運転日報に必須項目を追加しましたが、項目が増え、運転日報も見にくくなり現場からも不満があがるがありました。また直行直帰など、1日2回の目視確認ではチェック時間が不定期で現場管理者にはかなりの業務負担がかかっておりました。



導入の決め手

既存のアルコール検知器を利用しながら、全事業所の記録をクラウド一元管理

従来より全運転者にアルコール検知器を配布し、紙での運転日報の管理を実施していました。全国の事業所でのアルコールチェック管理業務の負担は大きく、それらを解決できるサービス探しており『スリーゼロ』に辿り着きました。『スリーゼロ』は、検知器の測定結果をOCRで自動認識し、クラウドでデータ管理でき、加えてコストを抑えて導入できるところが決め手になりました。保有している検知器をそのまま利用してすぐにクラウド管理を始められるところもポイントでした。

導入後の効果

検知器の測定結果は、クラウドで管理でき、管理者の作業負担カットを実現

アルコール検知器の測定結果が、『スリーゼロ』経由で自動的に管理されるので、管理者側で紙からデータ集計する作業が大幅に短縮されました。また現場管理者がZoomで目視確認していた部分は、『スリーゼロ』で撮影した運転者顔写真・検知器測定結果をブラウザ上で表示し電話で確認する形になり、現場の業務負担が軽減されました。検知器のデータが数字で正確に記録され、運転者もこれまで以上に前日の飲酒量を気にする方も増えたという意見もありました。

今後の期待

アルコールチェック管理業務の効率化に向け、日々改善に努めます

管理機能として、データのCSV出力などは大変助かっております。『スリーゼロ』はシンプルな操作性のため、現場の社員もスムーズに利用できていると思います。今後の期待としては、会社の組織変更なども継続的に発生すると思っておりますので、組織の変更をどの管理担当者でも簡単に対応できるようになれば助かります。管理部門からは運転日報含めたクラウド化の提案もあがっております。ただし一気にIT化すると現場も混乱が予想されます。現場とコミュニケーションをとりながら更なる業務効率化を検討していければと考えております。